

2025年11月4日

各位

株式会社富山第一銀行

## 次期基幹系システムとして「じゅうだん会」\*共同版システムへの移行方針の決定および 運営主体である株式会社八十二銀行との覚書の締結について

株式会社富山第一銀行（頭取 野村 充）は、次期基幹系システムについて、「じゅうだん会」の共同版システムへの移行方針を決定し、2025年10月31日、運営主体である株式会社八十二銀行（頭取 松下正樹）と覚書を締結しましたのでお知らせいたします。

当行は、次期基幹系システムの共同化により長期安定稼働に資するシステムを構築し、多様化するお客様のニーズに対して迅速かつ安全安心なサービス提供を持続させるとともに、IT 資源の有効活用によって、さらなる顧客サービスの向上や成長分野への投資を通じて、より一層の企業価値向上を目指してまいります。

### 記

#### 1. 経緯

当行では次期及び中長期的な基幹系システムのあり方や IT 資源の活用について多面的な検討を行い、2021年から基幹系システム共同化への移行に向けた本格的な検討を進めてまいりました。

このたび、安全・安定的に良質な顧客サービスを提供できる信頼性、先進的な商品開発やサービス向上の迅速化、金融環境の変化に柔軟かつ効率的に対応できる将来性、IT 資源の有効活用、共同利用行との知見・ノウハウ等の共有によるサービスの高度化などの観点から、「じゅうだん会」共同版システムへの移行方針を決定し、運営主体である株式会社八十二銀行と覚書を締結いたしました。

今後、正式契約締結に向けて検討・準備を進めてまいります。

#### 2. 覚書の概要

(1) 締 結 日           2025年10月31日

(2) 概       要           「じゅうだん会」共同版システム利用に向けた準備の開始およびソフトウェア等の使用許諾に関する事項

#### 3. 今後の予定

今後につきましては、2026年10月末までの正式契約の締結、2030年中の移行を目指して事前準備を進めてまいります。具体的なスケジュールについては決定次第別途お知らせいたします。

※ 八十二銀行が開発する銀行の基幹系システムを共同利用する地方銀行の枠組み（現在参加行：山形銀行、筑波銀行、武蔵野銀行、八十二銀行、阿波銀行、宮崎銀行、琉球銀行）

以上

本件に関するお問い合わせ先  
総合企画部 経営企画グループ 堀、田中、上野  
(TEL：076-424-1219)